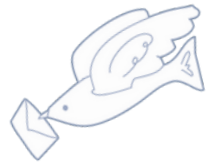


#04
2024
Oct.

あんしんぶん



クラウドファンディング 10/22スタート! /

映画製作プロジェクト始動!

～離婚後共同親権でわたしたちの未来はどうなるのか～

ちょっと待って共同親権ネットワークは
離婚後共同親権の施行に向けて、
日本の離婚の実態を映画にして社会に届けます。

10/22(火) 18時より、MotionGalleryで
映画製作プロジェクトのクラウドファンディングが始まります!
ぜひ、ご支援・ご寄付をお願いいたします。

▶クラウドファンディングページ (10/22(火) 18時～)
https://motion-gallery.net/projects/chottomatte_movie



たくさんの反対を押し切って成立した離婚後共同親権。
これは、家族の鎖とならないのか。
子どもの人生は、どうなるのか。
DVや虐待に苦しむ未来の被害者を減らし、
個人の尊厳が守られる社会になるよう願いをこめて、
映画を作ります。

※クラウドファンディングのご支援にはMotiongalleryのアカウント登録が必要です。
支援いただいた方のお名前が表示されるので、ニックネームを表示名に使うことをお勧めします。
クラウドファンディングのご使用が難しい方は、口座振込みでのご支援も可能です。2枚目をご覧ください。

「共同親権」の映画を作ります！！

2026年から共同親権が日本でも導入されますが、その時、子どもや同居親はどのような問題に直面するのかの映画を製作することにしました！
みなさんぜひ映画製作を応援してください。

この映画は、共同親権になると、子どもたちや同居親の生活はどのようなのか、家庭裁判所ではどのような調停や話し合いが行われるのか、などを描いていきます。

共同親権は、子どもの転居・進学・留学、医療（手術や手術前の検査）などで父母の合意が必要となる制度であり、24万人もの人が反対署名をしました。また全国19の弁護士会では共同親権の反対あるいは再考をもとめる声明が出ています。2024年5月、国会前には共同親権の反対を訴えて多くの人々が集まり、声をあげました。法案は成立しましたが、共同親権によって子どもたちが人生の希望を閉ざされないようにしていかなければなりません。

日本では、家庭裁判所での子の監護紛争を描いた映画は、私の知る限りではありません。海外では、家庭裁判所でDVケースにおける子の監護紛争を描いた映画として、フランス映画「ジュリアン（原題は『カスタディ（監護）』）（2017）」、アイルランド映画「サンドラの小さい家（2020）」が日本でも全国公開されています。

私たちも、映画を製作し、全国で上映してこの共同親権の問題について社会に発信するため、2025年内には製作し、2026年初頭の公開を目指します。



そこで皆さんにお願いがあります。

映画の製作には多額の費用がかかります。現在、信頼できる映像制作会社に依頼していますが、500万円以上の費用を見込んでいます。このたび、モーションギャラリーのクラウドファンディングの審査が通りましたので、ぜひご寄付をお寄せ下さい。心よりお待ちしております！

ちょっとまって共同親権ネットワーク
代表世話人 熊上崇（和光大学）

活動資金のご支援をお願いします

クラウドファンディングサイトのご使用が難しい方は、引き続き口座振り込みでもご寄付を受け付けておりますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

振込口座
楽天銀行 コンガ支店
普通 3597978
クマガミタカシ